



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

## 避難訓練は「命を守る大切な授業」！

5月2日（木）3校時、第1回避難訓練が、棚倉消防署矢祭分署の署員の皆様に来ていただき、実施の予定でしたが、前日に発生した山林火災の影響で、先生方だけの実施になりました。学校は、いつ、どこで、何が起きるかわかりません。今回の火災は、校長も教頭も不在時に火災が発生したとの想定で実施しました。



### 【避難訓練の目的】

- 1 非常時において、安全かつ敏速な行動がとれるよう、児童に避難方法を十分に理解させ、自ら進んで対応できるようにする。
- 2 不慮の災害に備えての防火意識を高め、「自分の命は自分で守る」という意識を高める。



### ● 理科室から出火

- ① 非常ベルが鳴り響く。職員室火災板の2階西側校舎区域が表示。矢部先生が、石井先生に表示区域に行き、状況を確認するよう指示をした(消火器持参で)。
- ② 理科室から出火(初期消火不可能)の報告を受け、平山先生は子どもたちへの避難指示、熊倉先生は「119番」通報をする。
- ③ 子どもたちは避難経路に従ってプール前まで避難する。  
★「プール前に避難しなさい。」の避難指示から人員確認・報告まで 1分39秒。(昨年度は2分19秒)

### 【校長の話】

今日の避難訓練は、3つの「あ」の一つ「安全」のお勉強です。平成24年1月から9月までの9か月のデータ(33, 571件)から、火災は1日に何件くらい起きていますか。おおよそ1日あたり123件、約11分に1件の火災が発生したことになります。その火災で、1, 265人の大切な命が失われました。

火災でこわいのは何だと思えますか。校長先生は「煙」だと思えます。建物が燃えると煙が出ますね。この煙は「一酸化炭素」として「毒」なのです。この煙を吸ってしまうと、手足がしびれて動けなくなります。何がこわいか、「一酸化炭素」は色も臭いもしないところです。この煙を吸わないように、みんなは口をハンカチで押さえましたね。また、煙のスピードはどのくらいか知っていますか。

煙の速さ：廊下を横に行く速さ→毎秒1～2m

【人の歩く速さくらいからジョギングくらい】

：階段を上に行く速さ→毎秒5m

【1秒間に2階分くらいはあっという間に煙が上がってくる】



早いんですね。だから避難はできるだけ早くしなくてははいけません。「お・は・し・も」を確認してくださいね。

お…押さない    は…走らない    し…しゃべらない    も…戻らない



# 第2回交通教室「自分の命は自分で守る」

5月9日(木)3校時、矢祭駐在所の緑川さん、矢祭町交通教育専門員の緑川さん、矢祭町交通専門指導員の鈴木さん、藤田観光の藤田社長、棚倉トヨペットの松下さんに来ていただき、第2回交通教室を行いました。

今回は、ダミー人形を使って、道路に飛び出すことがどれだけ危ないか(命の危険)を学ぶため、実験を行いました。時速40kmで走行している車の前に急に飛び出したらどうなるかを目の前で体験し、車のこわさ、ルールを守らないとどんな事故が起きてしまうのかを知ることができました。

その後、車やバスのかげから横断するこわさと、横断の仕方を学びました。

最後に、登校班ごとに、実際の道路の歩行訓練を行いました。

内川小の子どもたちは、「絶対に飛び出しはしない」「道路を渡るときは、右-左-右の指差し確認をする」などの実践で「自分の命は自分で」守ります。

多くの方々に支えられながらの「命を守る大切な授業」でした。ありがとうございました(感謝)。ご家庭でも指導をお願いいたします。



## 【校長の話】

今日もお忙しい中、多くの方々に来ていただき交通教室に参加できることに感謝しましょう。今日は、人形を使って、道路に飛び出すことがどれだけ危ないのかを学ぶために、藤田観光の藤田さん、棚倉トヨペットの松下さんにも来ていただき、バスと人形での実験をお願いしています。

4月の1回目では、「車は急には止まらない!」のお話をしました。40kmのスピードで22mも進んでしまいます。

5月7日(火)午後6時50分頃、悲しい事故が起きました。古殿中学校1年生の12歳の女子生徒が自宅前の県道でスクールバスを降りてバスの後方から道路を横断しようとした際、左から来た軽乗用車にはねられました。女子生徒は頭などを強く打ち亡くなりました。バスの後ろからだったので左から来た車が見えなかったのかもしれません。もう彼女は学校に行くことも、家族と笑うこともできません。本当に悲しい事故です。中学校に入学し、部活動も頑張り始めた時期。この女の子は何部に入って頑張っていたのかな。輝かしい未来があるはずだったのに。

一瞬にしてたった一つのかげがえのない命がなくなりました。お父さんお母さんの家族の気持ちを考えると涙が止まりません。

校長先生のお仕事は、みんなの命を守ることです。

大事なことは、みんな一人一人がどんな時もどんな場所でも交通ルールを守ることです。自分の命も守る大切な授業ですので、真剣に交通教室にのぞんでください。

40Kmで走行

## 衝突実験の様子

命はたった一つ



- 1 絶対に飛び出しはしません。
- 2 道路の右側を1列で歩きます。
- 3 横断歩道や道路を渡るときは、必ず ①止まります。②右-左-右を指差し確認をします。
- 4 止まっている車やバスの後方からの横断はしません。

